

気軽に読める暮らしのネタ

イノス INOS Monthly マンスリー



News Letter
2018.6 月
Vol.193

不快なジメジメをなるべく軽減！ 梅雨のハウスキーパー術

不快だけでなく、体調に悪影響を及ぼしたり家を傷めたりもする、厄介な湿気。本格的な梅雨を前に、家庭内の湿気をなるべく軽減するテクニックをご紹介します。

○換気を徹底して空気を入れ替えよう！

湿気を減らすための基本は、なんと言っても「換気」です。室内の空気を定期的に入れ替えて、よどんだ空気を逃がしましょう。

「外も雨が降り続いてジメジメしているから、換気しても意味がないのでは？」と思われるかもしれませんが、たとえ湿度が下がらなくても、「カビやニオイの原因となる「熱のこもり」や「カビの孢子」などを逃がすことはできます。ポイントは、必ず2カ所以上の窓や扉を開けること。1カ所だけでは空気の通り道ができにくいからです。

さらに台所のシンク下、クローゼット、押入れなども定期的に分け放して、湿気がこもりがちな場所の空気を入れ換えましょう。

○「湿気取り」アイテムを活用しよう

特に湿気がたまりやすいシンク下や靴箱、押入れなどには市販の「湿気取り」を置くのがオススメです。据え置き式の箱型や、床や棚などに敷けるシート型、フックで吊るせるタイプなど、置きたい場所に合わせて選びましょう。

身の回りにあるちょっとした物でも除湿はできません。例えば、ついいたまりがちな「新聞紙」。クシャクシャに丸めてから広げれば、表面積が増えてほどよく湿気を吸い取ってくれる優れたもの。除湿シート代わりに敷くのがオススメです。

そしてエコな万能洗剤として人気の「重曹」は、湿気だけでなく、不快なニオイまで吸い取ってくれます。使い方は、適当な空き容器に入れて置くだけ。こぼれないようにガーゼなどでふたをしましょう。湿気を吸ったら固まりますが、ほぐせば洗剤として再利用できます。

極めつけは、昔ながらの「炭」です。呼吸するように湿気を吸ったり吐いたりして、湿度を調整してくれます。天日干しすれば何度でも使えるので、とってもエコ！



○ポイントはマメな対策

換気も除湿アイテムの入れ替えも、ポイントは「マメに行なうこと」。梅雨は体もだるくなりがちなのでつい怠ってしまいますが、湿気はすぐにはたまってしまわないので、こまめに対策しましょう。

全国に広がる家づくりネットワーク

INOS

イノスグループ

(有) 野中建築工業所

NONAKEN 1級建築士事務所